

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場会社名 株式会社 クラレ

コード番号 3405 URL <http://www.kuraray.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 文大

問合せ先責任者 (役職名) IR・広報部長

(氏名) 藤波 智

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

TEL 03-6701-1070

配当支払開始予定日 —

上場取引所 東大

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	72,910	△27.1	1,730	△85.2	1,512	△86.5	138	△97.9
21年3月期第1四半期	99,950	—	11,666	—	11,228	—	6,535	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	0.40	0.40
21年3月期第1四半期	18.77	18.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	481,455	326,120	67.1	927.49
21年3月期	471,874	325,016	68.2	924.48

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 322,960百万円 21年3月期 321,918百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	12.00	—	10.00	22.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		8.00	—	8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	160,000	△23.6	8,000	△65.6	7,000	△68.5	4,500	△66.4	12.92
通期	340,000	△9.8	20,000	△31.7	17,000	△36.6	10,500	△19.1	30.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 382,863,603株 21年3月期 382,863,603株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 34,654,138株 21年3月期 34,647,544株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 348,209,708株 21年3月期第1四半期 348,236,769株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年6月30日）の経営環境は、中国など一部の地域や液晶関連等の製品で回復傾向にありますが、依然として世界同時不況の影響を受けており、全般に需要は低調に推移し、厳しい状況が続きました。こうした中で当社は販売価格の維持を図るとともに、設備・人員を含めた固定費のいっそうの圧縮等、損益分岐点改善の諸施策に取り組みました。

この結果、売上高は72,910百万円（前年同期比27.1%減）、営業利益は1,730百万円（同85.2%減）、経常利益は1,512百万円（同86.5%減）、四半期純利益は138百万円（同97.9%減）と大幅な減収・減益となりました。

前年同期と比較した事業別、所在地別の状況は以下の通りです。なお、当社の海外子会社の当第1四半期連結累計期間は平成21年1月1日～平成21年3月31日となっております。

事業の種類別セグメント

〔化成品・樹脂〕

売上高は44,436百万円（前年同期比28.1%減）、営業利益は5,221百万円（同59.1%減）となりました。

ポパール樹脂は、国内、アジア、欧州ともに景気低迷の影響を受け、繊維加工、紙加工、接着剤用途等、全般に需要が落ち込みました。PVBフィルムは、欧州の建築用途が急速に悪化し、厳しい状況となりました。光学用ポパールフィルムは、中国の景気対策等による液晶TVの需要増を背景とした液晶パネルの生産回復に伴い、数量も前年同期並みまで回復しました。EVOH樹脂<エパール>は、中国でのガソリントラックを中心にアジア向けが伸びましたが、米国、欧州は景気低迷や自動車分野の落ち込みの影響が大きく、全体として需要は低調でした。メタクリル樹脂は、導光体用途で回復しつつあるものの、成形材料、シートとも汎用品を中心に景気低迷の影響を受けました。イソプレノ関連は、溶剤等化学品、農薬中間体等ファインケミカルが需要減、市況低迷により低調、熱可塑性エラストマー<セプトン>は、食品、メディカル用途等が日本・アジアで回復してきたものの、米国、欧州は需要低迷が続きました。

〔繊維〕

売上高は17,971百万円（前年同期比24.5%減）、営業損失は535百万円（前年同期は1,344百万円の利益）となりました。

ビニロンは、アスベスト代替のFRC（繊維補強セメント）用途が欧州の住宅建築低迷により、需要が減少しました。人工皮革<クラリーノ>は、靴、インテリア用途等の需要不振で低調でした。不織布は顧客の在庫調整が進み堅調、面ファスナーは産業資材・自動車用途で回復が遅れ、低調に推移しました。ポリエステルは、衣料、産業資材とも需要減少の影響を受けました。

〔機能材料・メディカル他〕

売上高は10,502百万円（前年同期比26.7%減）、営業利益は580百万円（同47.2%減）となりました。

メディカルは、歯科材料が堅調に推移しました。耐熱性ポリアミド樹脂<ジェネスタ>は、液晶TV・パソコンに使用されるLED用途の需要が好調で、回復が進みました。エンジニアリング事業は全般の受注遅れや工事延期等の影響で低調に推移しました。

所在地別セグメント

〔日本〕

光学用ポパールフィルムは回復が進みましたが、ビニロン、<クラリーノ>、メタクリル樹脂等で低調に推移しました。この結果、売上高は52,663百万円と減収となりました。

〔北米〕

<エパール>、<セプトン>、<クラリーノ>等で需要が減退し、低迷を余儀なくされました。この結果、売上高は5,155百万円と減収となりました。

〔欧州〕

ポパール樹脂、PVBフィルム、<エパール>、アスベスト代替ビニロン等が景気低迷の影響を受け、販売不振が続きました。対ユーロ円高の影響も加わり、売上高は12,014百万円と減収となりました。

〔アジア〕

ポパール樹脂は回復の兆しがあるものの、需要低迷が続きました。この結果、売上高は3,076百万円と減収となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

総資産は、流動資産の増加等により前連結会計年度末比9,580百万円増の481,455百万円となりました。負債は、長期借入金の増加等により前連結会計年度末比8,476百万円増の155,334百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末比1,104百万円増加し、326,120百万円となりました。主な増加要因は為替換算調整勘定およびその他有価証券評価差額金の増加によるものです。自己資本は322,960百万円となり、自己資本比率は67.1%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが14,302百万円、投資活動によるキャッシュ・フローが△38,966百万円および財務活動によるキャッシュ・フローが5,951百万円となり、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より18,457百万円減少して27,700百万円となりました。

営業・投資・財務による各々のキャッシュ・フローの主な内容は次の通りです。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

税金等調整前四半期純利益576百万円、減価償却費8,225百万円および棚卸資産の減少8,533百万円などの収入に対し、仕入債務の減少2,124百万円、法人税等の支払664百万円などの支出で、営業活動によるキャッシュ・フローは14,302百万円の収入となりました。前年同期比では7,840百万円収入が増加しました。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

有価証券の純増27,000百万円や有形・無形固定資産の取得6,204百万円等の支出により投資活動によるキャッシュ・フローは38,966百万円の支出となりました。前年同期比では27,905百万円支出が増えました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

長期借入金11,000百万円の収入に対し、配当金の支払3,482百万円、短期借入金の返済1,418百万円などの支出で、財務活動によるキャッシュ・フローは5,951百万円の収入となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年4月30日に公表いたしました連結業績予想については見直しの結果、現時点では変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

連結財務諸表における重要性が乏しい一部の連結子会社は、四半期財務諸表における税金費用の計算にあたり、税引前四半期純利益に前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じて計算しています。

②四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,588	37,527
受取手形及び売掛金	67,622	66,551
有価証券	42,997	9,499
商品及び製品	47,685	51,294
仕掛品	7,957	10,145
原材料及び貯蔵品	10,220	12,112
繰延税金資産	5,016	5,493
その他	10,639	9,248
貸倒引当金	△510	△514
流動資産合計	209,218	201,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	34,612	34,832
機械装置及び運搬具(純額)	100,566	102,536
土地	18,956	18,918
建設仮勘定	23,709	21,188
その他(純額)	3,779	3,544
有形固定資産合計	181,623	181,020
無形固定資産		
のれん	19,547	19,684
その他	3,645	3,835
無形固定資産合計	23,193	23,520
投資その他の資産		
投資有価証券	49,416	47,505
長期貸付金	1,459	983
繰延税金資産	5,293	5,616
前払年金費用	7,025	7,128
その他	4,741	5,230
貸倒引当金	△516	△490
投資その他の資産合計	67,419	65,974
固定資産合計	272,236	270,515
資産合計	481,455	471,874

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,580	23,438
短期借入金	20,384	18,464
コマーシャル・ペーパー	3,000	3,000
未払法人税等	862	684
賞与引当金	3,378	5,753
その他の引当金	327	377
その他	19,253	17,323
流動負債合計	68,787	69,041
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	47,228	39,280
繰延税金負債	5,744	5,318
退職給付引当金	14,336	13,933
役員退職慰労引当金	138	171
その他	9,098	9,112
固定負債合計	86,546	77,816
負債合計	155,334	146,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,212	87,215
利益剰余金	190,633	193,977
自己株式	△40,907	△40,903
株主資本合計	325,894	329,244
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,284	2,825
繰延ヘッジ損益	△67	△156
為替換算調整勘定	△7,150	△9,995
評価・換算差額等合計	△2,933	△7,326
新株予約権	191	109
少数株主持分	2,968	2,988
純資産合計	326,120	325,016
負債純資産合計	481,455	471,874

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	99,950	72,910
売上原価	70,289	55,975
売上総利益	29,661	16,935
販売費及び一般管理費		
販売費	4,794	3,708
一般管理費	13,199	11,496
販売費及び一般管理費合計	17,994	15,205
営業利益	11,666	1,730
営業外収益		
受取利息	99	74
受取配当金	322	328
持分法による投資利益	—	17
その他	451	279
営業外収益合計	872	700
営業外費用		
支払利息	247	332
持分法による投資損失	20	—
出向者労務費差額負担	277	—
その他	765	585
営業外費用合計	1,310	917
経常利益	11,228	1,512
特別利益		
投資有価証券売却益	878	—
特別利益合計	878	—
特別損失		
構造改善特別損失	—	762
投資有価証券評価損	49	173
たな卸資産評価損	1,153	—
固定資産廃棄損	40	—
特別損失合計	1,243	935
税金等調整前四半期純利益	10,863	576
法人税、住民税及び事業税	1,846	52
法人税等調整額	2,457	378
法人税等合計	4,304	430
少数株主利益	24	7
四半期純利益	6,535	138

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,863	576
減価償却費	8,264	8,225
固定資産廃棄損	40	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△878	—
投資有価証券評価損	49	173
たな卸資産評価損	1,153	—
売上債権の増減額 (△は増加)	3,734	△627
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,199	8,533
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,397	△2,124
その他	△3,153	91
小計	13,477	14,847
法人税等の支払額	△8,109	△664
その他	1,094	118
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,462	14,302
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	—	△5,015
有価証券の純増減額 (△は増加)	—	△27,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△9,909	△6,204
投資有価証券の取得による支出	△2,413	△176
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,071	—
その他	190	△569
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,060	△38,966
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,221	△1,418
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	3,000	—
長期借入れによる収入	4,369	11,000
配当金の支払額	△3,830	△3,482
その他	△165	△147
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,595	5,951
現金及び現金同等物に係る換算差額	△453	255
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	543	△18,457
現金及び現金同等物の期首残高	12,189	46,157
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	687	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,420	27,700

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(百万円)

	化成品・樹脂	繊維	機能材料・ メディカル他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	61,823	23,804	14,322	99,950	—	99,950
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	37	144	2,908	3,090	(3,090)	—
計	61,860	23,948	17,231	103,040	(3,090)	99,950
営業利益	12,763	1,344	1,099	15,208	(3,541)	11,666

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(百万円)

	化成品・樹脂	繊維	機能材料・ メディカル他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	44,436	17,971	10,502	72,910	—	72,910
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	35	95	1,694	1,825	(1,825)	—
計	44,472	18,066	12,197	74,736	(1,825)	72,910
営業利益又は 営業損失 (△)	5,221	△535	580	5,265	(3,535)	1,730

(注) 1. 事業区分は、売上集計区分によっています。

2. 各事業の主な製品

- (1) 化成品・樹脂 ……ポバール樹脂・フィルム、PVB樹脂・フィルム、エチレンビニルアルコール樹脂<エバール>、イソプレン、ファインケミカル、メタクリル樹脂、樹脂加工品他
- (2) 繊維 ……ビニロン、人工皮革<クラリーノ>、乾式不織布<クラフレックス>、面ファスナー<マジックテープ>、ポリエステル、テキスタイル他
- (3) 機能材料・メディカル他 ……メディカル製品、機能材料、活性炭、高機能膜、エンジニアリング他

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(百万円)

	日本	北米	欧州	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	66,111	7,620	20,642	5,576	99,950	—	99,950
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	6,447	1,149	896	447	8,941	(8,941)	—
計	72,558	8,770	21,539	6,023	108,892	(8,941)	99,950
営業利益	11,685	373	2,362	132	14,553	(2,886)	11,666

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(百万円)

	日本	北米	欧州	アジア	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	52,663	5,155	12,014	3,076	72,910	—	72,910
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,445	803	321	285	5,855	(5,855)	—
計	57,109	5,959	12,335	3,362	78,766	(5,855)	72,910
営業利益又は 営業損失 (△)	5,693	△210	327	△267	5,543	(3,813)	1,730

(注) 1. 国または地域は、地理的近接度により北米、欧州、アジアに区分しています。

2. 各区分に属する主な国または地域の内訳は、次のとおりです。

- (1) 北米 ……アメリカ
- (2) 欧州 ……ドイツ、ベルギー
- (3) アジア ……シンガポール、香港、中国

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	北米	欧州	アジア	その他の 地域	計
I 海外売上高 (百万円)	7,988	21,627	19,763	1,936	51,316
II 連結売上高 (百万円)	—	—	—	—	99,950
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	8.0	21.6	19.8	1.9	51.3

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	北米	欧州	アジア	その他の 地域	計
I 海外売上高 (百万円)	5,601	12,917	15,289	874	34,682
II 連結売上高 (百万円)	—	—	—	—	72,910
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	7.7	17.7	21.0	1.2	47.6

(注) 1. 国または地域は、地理的近接度により北米、欧州、アジア、その他に区分しています。

2. 各区分に属する主な国または地域の内訳は、次のとおりです。

- (1) 北米 ……アメリカ、カナダ
- (2) 欧州 ……ドイツ、イギリス
- (3) アジア ……韓国、中国
- (4) その他 ……中南米地域、アフリカ地域

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。